

I 種試験・資格免許職 職員採用試験等の概要

R8.2.27
和歌山県職員採用説明会
和歌山県人事委員会



「和歌山県職員採用情報サイト」
<https://pref-wakayama-recruit.jp/>

本日の説明内容

- 1 令和8年度採用試験の主な変更点
- 2 採用試験の概要と受験者の状況
- 3 求める人材
- 4 和歌山県の仕事と組織
- 5 キャリアパス、初任給、勤務条件
- 6 県庁職場ガイド、SNSによる情報提供

令和 8 年度採用試験の主な変更点(1)

1. 試験名称を変更

- I 種試験（早期募集枠） → I 種試験（大学卒業程度）【春試験】
- I 種試験（大学卒業程度） → I 種試験（大学卒業程度）【夏試験】
- I 種試験（追加募集） → I 種試験（大学卒業程度）【秋試験】

2. 秋試験の受験資格拡大

21 歳以下（令和 9 年 4 月 1 日時点）の**大学 3 回生**が受験可能

*対象：土木職、農業工学職、林学職

採用予定日

大学 3 回生・修士 1 回生等 令和 10 年 4 月 1 日

大学 4 回生・既卒者等 令和 9 年 4 月 1 日

3

令和 8 年度採用試験の主な変更点(2)

3. 論作文試験の廃止

技術系職種、資格免許職の論作文試験を廃止

4. II 種試験（短大卒業程度）の募集中止

土木職、農業土木職（短大卒業程度）の募集を中止

* 高等専門学校卒業（見込）の人は、I 種試験を受験可能

5. I 種試験（社会人枠）の募集職種を追加

募集職種に**電気職**を追加

* 従来は、一般行政職、土木職、農業工学職、林学職で募集

4

I 種・資格免許職試験等日程（令和 8 年度）

	併願可			社会人枠
	春試験	夏試験	秋試験	
試験案内配布	2/24～	4/10～	10/6	4/10～
受付期間	3/2～3/19	4/17～5/15	10/6～10/30	4/17～5/15
第 1 次試験	4/2～4/13 テストセンター方式	6/21	11/22	6/21
第 1 次合格発表	4/23	7/1	12/21	7/1
第 2 次試験	○一般行政職 論文試験 5/17 面接試験 5/18～20の間で 1 日 ○技術系職種・社会福祉士 面接試験 5/25～27の間で 1 日	○一般行政職 7/14～17の間で 1 日 ○学校事務職・警察事務職・ 技術系職種・資格免許職 7/22～27の間で 1 日	1/6又は7のいずれか 1 日	○一般行政職 1日目 7/25又は26のいずれか 1 日 2日目 8/8又は9のいずれか 1 日 ○技術系職種 7/25又は26のいずれか 1 日
最終合格発表	6/5	8/5	1/18	8/20

5

I 種・資格免許職の募集状況（令和 8 年度）

Point ☆ ≡

受付期間
3/2～3/19

I 種 春試験

	試験区分	採用予定人員
事務系職種	一般行政職	50人程度
	土木職	20人程度
技術系職種	農業工学職	7人程度
	電気職	3人程度
	機械職 * 1	1人程度
	林学職	7人程度
資格免許職	社会福祉士 * 2	8人程度

R 8 受験資格 ※R9.4.1採用時
22歳～29歳
22歳～35歳（* 1 の試験区分）
～39歳（* 2 の試験区分）

6

[参考] I種・資格免許職募集状況(令和7年度)

I種夏試験(旧I種大卒程度)

	試験区分	採用予定人員
事務系職種	一般行政職 *	30人程度
	学校事務職	4人程度
	警察事務職	6人程度
技術系職種	情報職A	4人程度
	情報職B	1人程度
	土木職 *	12人程度
	農業工学職 *	4人程度
	建築職	4人程度

受験資格 ※R8.4.1採用時
22歳～35歳
22歳～29歳 (*の試験区分のみ)

資格免許職

	試験区分	採用予定人員	試験区分	採用予定人員
技術系職種	化学職	2人程度	社会福祉士	11人程度
	農学職	12人程度	心理職員	5人程度
	林学職 *	9人程度	精神保健福祉士	2人程度
	水産職	2人程度	薬剤師	3人程度
	法医鑑識職	1人程度	保健師	7人程度
			船舶職員	2人程度

受験資格 ※R8.4.1採用時
～39歳
※船舶職員のみ ～50歳

7

[参考] 令和7年度 I種・資格免許職募集状況

I種【秋試験】(旧I種追加募集)

	試験区分	採用予定人員
技術系職種	土木職	20人程度
	農業工学職	14人程度
	林学職	13人程度
	電気職 *1	2人程度
	化学職 *1	1人程度
資格免許職	社会福祉士 *2	4人程度
	心理職員 *2	3人程度
	保健師 *2	3人程度

受験資格 ※R8.4.1採用時
22歳～29歳
22歳～35歳 (*1の試験区分)
～39歳 (*2の試験区分)

社会人枠

試験区分	採用予定人員
一般行政職	10人程度
土木職A	7人程度
土木職B	1人程度
農業工学職	2人程度
林学職	1人程度

受験資格 ※R8.4.1採用時
30歳～45歳

8

【春試験】試験の内容

Point ☆

専門試験がないため、特別な公務員試験対策が不要

第1次試験 (テストセンター方式)

- 基礎能力試験 (SCOA) (択一式120題 60分)
- 適性検査



面接を重視

成績リセット

第2次試験

- 論文試験 (1200字程度 90分) 【事務系職種のみ】
- 個別面接 (1日で2回面接)
複数の面接員で実施する受験者毎の人物試験

	1回目	2回目
一般行政職	面接試験	自己PR面接
技術系職種、資格免許職	専門性面接	面接試験

* 自己PR面接→受験申込の際の自己PRに基づく3分程度のプレゼンテーション

* 専門性面接→専門性確認シートに基づき、専門的知識及び能力についての個別面接

9

【夏試験】試験の内容 (令和7年度)

第1次試験

- 基礎能力試験 (SCOA) (択一式120題 60分)
- 専門試験 (120分)
事務系職種：4科目 (「法律」「経済」「総合A」「総合B」) から選択
情報職A,B：記述式及び択一式40題を全問必須解答
その他職種：択一式40題を全問必須解答
- 適性検査
- 論文試験 (1200字程度 90分) 【事務系職種のみ】 * 採点は第2次で実施



面接を重視

成績リセット

第2次試験

個別面接

複数の面接員で実施する受験者毎の人物試験

* 一般行政職のみ2回実施 (1日で2回面接)

秋試験は夏試験と同じ試験科目
* 専門試験は、記述・択一の別、問題数など異なる場合があります。

10

【夏試験】 専門試験（一般行政職・学校事務職・警察事務職）の内容

法律（40題全問必須解答）

憲法(5)、行政法(12)、民法(12)、刑法(3)、労働法(3)、経済学・財政学(5)

経済（40題全問必須解答）

経済原論(18)、財政学(4)、経済史(4)、統計学(2)、経済事情(4)、経済政策(3)、
憲法・行政法・民法(5)

総合A（60題から40題選択解答）

政治学(2)、行政学(2)、憲法(4)、行政法(5)、民法(4)、刑法(2)、労働法(2)、
経済学(11)、財政学(3)、社会政策(3)、国際関係(2)、

教育学(5)、社会福祉概論(5)、社会学概論(5)、心理学概論(5) ←文系

総合B（60題から40題選択解答）

政治学(2)、行政学(2)、憲法(4)、行政法(5)、民法(4)、刑法(2)、労働法(2)、
経済学(11)、財政学(3)、社会政策(3)、国際関係(2)、
数学・物理・化学(20) ←理系

11

【社会人枠】 試験の内容

Point ☆☆☆

専門試験がないため、
特別な公務員試験対策が不要

第1次試験



第2次試験

- 基礎能力試験（SCOA）（択一式120題 60分）
- 適性検査
- 論文試験（1200字程度 90分） 【事務系職種のみ】 *採点は2次で実施

成績リセット

● 個別面接（2回）

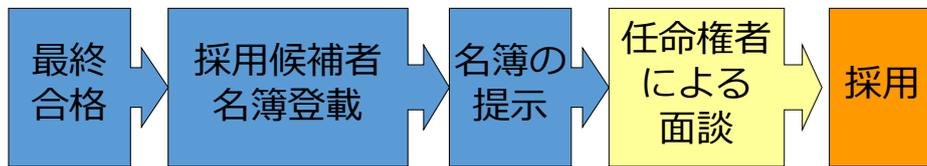
複数の面接員で実施する受験者毎の人物試験

	1回目	2回目
一般行政職	面接試験	自己PR面接
技術系職種	専門性面接	面接試験

* 専門性面接→専門性確認シートに基づき、専門的知識及び能力についての個別面接
* 自己PR面接→受験申込の際の自己PRに基づく3分程度のプレゼンテーション

12

合格から採用まで

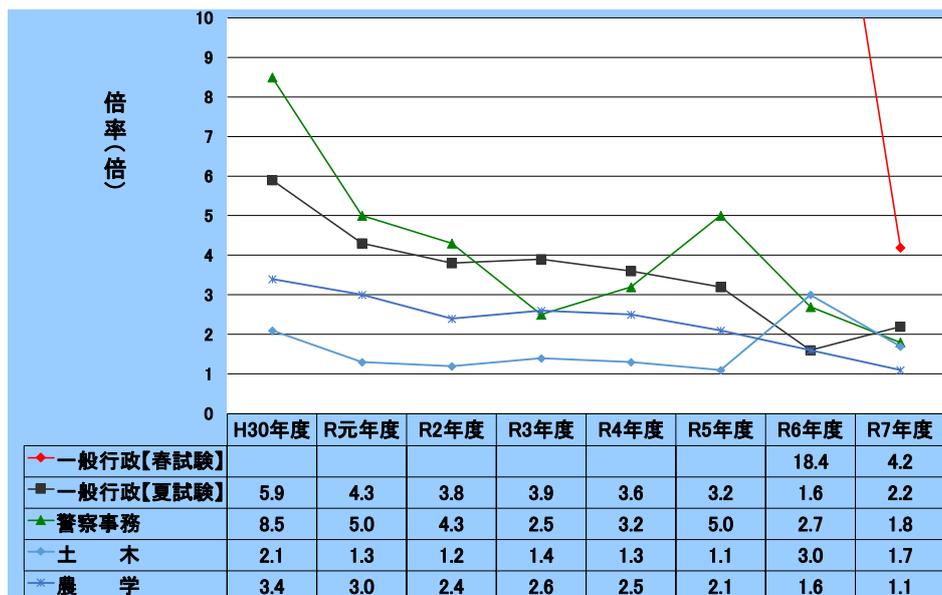


- ・最終合格者数は、合格発表後に本人が採用を辞退した場合などを考慮して、職種によっては採用予定人員より多く決定する場合があります。
- * 「採用待機者」とされた方は、採用されない場合があります。

13

競争率の推移（I種）

※ 競争率 = 受験者 ÷ 合格者



14

求める人材

つねに県民に寄り添い、県民の視点に立って行動できる人

前例にとらわれず、失敗をおそれず、柔軟な発想で課題に挑戦できる人

互いの違いを認め合い、対話を重ねることで、多様な主体と協働できる人

15

和歌山県の仕事と組織（1）

知事室	秘書業務、政策調整、広報公聴等
総務部	人事管理、予算編成、行政監察、県税徴収、市町村助言、財産管理等
危機管理部	危機管理、防災対策等
企画部	総合計画、調査統計、国際交流、文化・スポーツ振興等
地域振興部	地域振興、移住定住推進、交通政策、DX推進、観光振興等
環境生活部	環境保全、脱炭素施策、消費者施策、食の安全等
共生社会推進部	人権施策、こども政策推進、男女共同参画等
福祉保健部	障害者・高齢者の福祉、少子化対策、保健・医療施策等
商工労働部	商工業振興、GX推進、企業誘致、労働施策等
農林水産部	農林水産業振興に係る指導、研究、支援、販路開拓等
県土整備部	道路、河川、港湾、公園、下水道等の基盤整備や維持管理等
会計局	県の収入・支出及び物品の調達等



あらゆる分野で県民を支えます！

16

和歌山県の仕事と組織（2）

県議会事務局	県議会の運営、調査研究等
監査委員事務局	県の財務に係る事務や事業の執行状況の監査等
人事委員会事務局	職員・警察官の採用試験や給与の調査研究、不服申立の審査等
労働委員会事務局	不当労働行為の救済申立ての審査や労使間の争議の調整等
教育委員会事務局	教育の充実や文化財の保護、教員採用等
警察本部	県民の生命・身体・財産保護と、安全や社会正義の実現等

和歌山県の職員数 14,767名（R7年4月1日）

一般行政部門	3,541	（対前年度 +14）
教育部門	8,505	（ -90）
警察部門	2,511	（ +1）
病院等	210	（ -1）

17

和歌山県の仕事と組織（出先機関等）



《左記以外の機関》

東京事務所、環境衛生研究センター、動物愛護センター、南紀熊野ジオパークセンター、世界遺産センター、ジェンダー平等推進センター、中央児童相談所、紀南児童相談所、DV相談支援センター、障害児者サポートセンター、精神保健福祉センター、こころの医療センター、県立高等看護学院、なぎ看護学校、仙深学園、難病・こども保健相談支援センター、公営競技事務所、工業技術センター、和歌山産業技術専門学院、田辺産業技術専門学院、農業試験場、果樹試験場、かき・もも研究所、うめ研究所、暖地園芸センター、畜産試験場、養鶏研究所、林業試験場、水産試験場、農林大学校、就農支援センター、紀北家畜保健衛生所、紀南家畜保健衛生所、和歌山下津港湾事務所、土砂災害啓発センター、文書館、県内高等学校等、警察本部・県内警察署

18

キャリアパス（ジョブローテーション）

■ 一般行政職（I種）の場合

本庁と出先機関を平均3～5年サイクルで異動。様々な分野を経験
（この間、希望者を省庁・大学院等へ派遣）



※大卒一般行政職の参考モデル

■ その他の職種

職種の特性に応じて、ジョブローテーションする

■ 昇任と人事評価

主事・技師→副主査→主査→主任→班長→
副課長→課長→局長→部長（副課長以上が管理職）
※ 昇任は、人事評価等を踏まえ、能力・実績主義

19

和歌山県職員の研修（研修派遣先）

職員を公募で派遣。若手職員の派遣研修（人材育成）に力を入れています！

令和7年度派遣先

省 庁	内閣府、デジタル庁、総務省(2)、外務省、財務省(2)、厚生労働省、経済産業省(2)、中小企業庁、資源エネルギー庁、農林水産省(3)、国土交通省(1)
海 外	自治体国際化協会（ロンドン）、国際観光振興機構（マドリッド）、タイ工業省（タイ）、中国山東省政府
民間等	2025年日本国際博覧会協会(7)、地方公共団体情報システム機構(J-LIS)、防災科学技術研究所(NIED)、みずほサーチ&テクノロジーズ（株）、（株）紀陽銀行、JETRO和歌山事務所、関西広域連合(3)
大 学 等	和歌山大学大学院、滋賀大学大学院、政策研究大学院大学、事業構想大学院大学、自治大学校

その他にも、県内市町村や県立和歌山医大など様々な派遣先があります

20

初任給

I種(大学卒)		大学新卒 (一例)	大学卒後民間企業等7 年(一例)	III種(高校卒)
一般行政、学校事務、警察事務、 土木、農業工学、建築、電気		247,932円	290,402円	215,688円
化学、農学、林学、 水産	本庁・振興局	247,932円	290,402円	
	試験研究機関	270,471円	326,611円	
薬剤師・獣医師 <small>※大卒時に資格を取得している 場合</small>	本庁	260,036円	296,558円	
	保健所	269,323円	305,846円	
保健師 <small>※大卒時に資格を取得している 場合</small>	本庁	247,932円	290,402円	
	保健所	284,037円	313,463円	

* 給与月額は今和7年4月1日採用者の額(地域手当5%を含む。)

* この他、**期末・勤勉手当(4.65か月)**、**扶養手当**、**住居手当**、**通勤手当**等支給。

21

勤務条件等

勤務時間(週休2日制)

原則として**9:00~17:45**

職員のライフスタイルに合わせて
4つの勤務形態から選択し勤務可能 /
 休憩時間も**11:00~14:00**で柔軟に取得可能

- 8:00~16:45
- 8:30~17:15
- 9:30~18:15
- 10:00~18:45

<令和6年度実績>
 月平均超過勤務時間：**11.7時間**

令和7年度からは**フレックスタイム**を導入!

休 暇

- ・年次有給休暇(年20日)、夏季休暇(5日)
- ・結婚休暇、病気休暇 等

<令和6年度実績>
 有給休暇の平均取得日数：**14.0日**
 夏季休暇の平均取得日数：**4.9日**

福 利 厚 生

- ・地方公務員共済組合(療養の給付、年金)
- ・健康診断・人間ドック・健康相談
- ・職員住宅
- ・住宅資金等の貸付制度

バスケット、サーフィン、キャンプなど部活動も盛ん

出産と育児のサポート制度

制度が充実しているため、
子育てと仕事を両立する職員が多く在籍！

＼子育てしやすい環境を整えています／

	妊娠	出産	1歳	2歳	3歳	小学校就学	中学校就学
女性職員		産前産後休暇 有給	出産予定日前8週間～出産後8週間				
男性職員		妻の出産休暇 有給	入院の日～産後2週間の間で3日以内				
		育児参加休暇 有給	出産予定日の8週間前～出産後1年を経過するまでの5日以内				
男女共通		育児休業 無給	3歳になるまで(子が1歳に達する日まで、共済組合から育児休業手当金を支給)				
		育児時間休暇 有給	3歳になるまで/1日2回各60分、又は1日1回120分				
		育児部分休業 無給	小学校就学前まで/1日2時間以内				
		育児短時間勤務制度(勤務時間に応じた額を支給)	小学校就学前まで				
		早出遅出勤務制度	小学校就学前まで				
		子の看護休暇 有給	満15歳に達する日以後の最初の3月31日まで/1年につき5日まで、子が2人以上の場合は10日まで				
		介護休暇 無給	6か月以内				

令和6年度育児取得率
女性100%
男性75.4%

※育児等取得職員の業務をカバーした職員に対する手当加算制度(ポイント制)の導入(R7.4月～)

県庁の仕事を知るには？

○ 県庁職場ガイド

若手の県職員との懇談や職場の見学等を通して、県庁の仕事や魅力を知り疑問に答える(所要時間：1時間30分～2時間)
随時受付。申込は「和歌山県職場ガイド」検索

※詳細は人事委員会事務局HP参照 →



○ わかやまインターン

職場で実際に働きながら仕事を学び、自身のキャリアについて考える。
5日間の就業体験は夏期に実施。1～3日間のちょこっとコースは随時開催

【がっつり】 実施日：令和7年8月1日～9月30日
申込期間：令和7年6月1日～7月14日
【ちょこっと】 実施日：令和7年5月12日～令和8年3月31日
申込期間：令和7年5月12日～令和8年3月31日



SNSによる情報提供

試験案内の配布開始や受付開始、説明会の開催情報などをタイムリーにお届け

公式X (旧 : Twitter)

@wakayama_saiyou



公式instagram

@recruit_wakayama



公式Facebook

@wakayamaprefecture.saiyou

